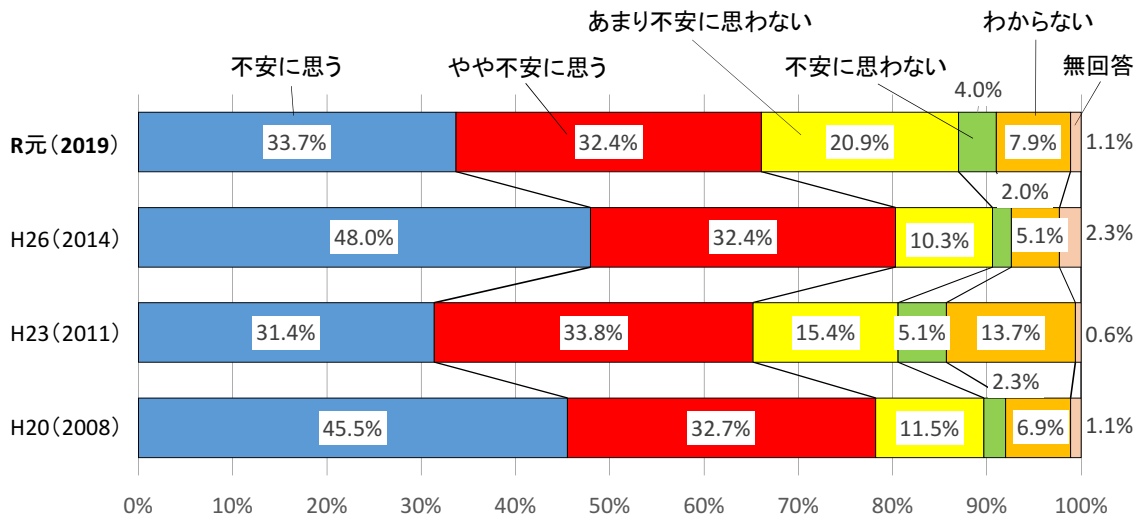


令和元年度（2019年度） 道民意識調査の結果

【調査の概要】

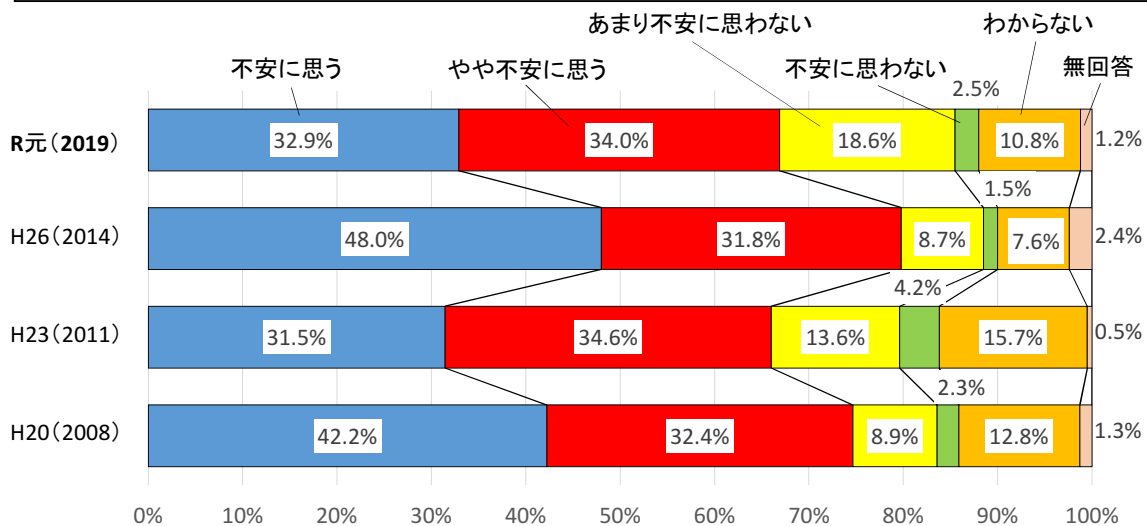
- 調査対象：道内に居住する満18歳以上の個人
- 標本数：1,500サンプル
- 抽出方法：層化二段無作為抽出法
- 調査方法：郵送配布・郵送回収及びweb（スマホ）による回答
- 調査期間：令和元年（2019年）10～11月
- 有効回収数（率）：732（48.8%）

問1 遺伝子組換え作物及びそれを使った加工食品の安全性について、どのように思いますか。



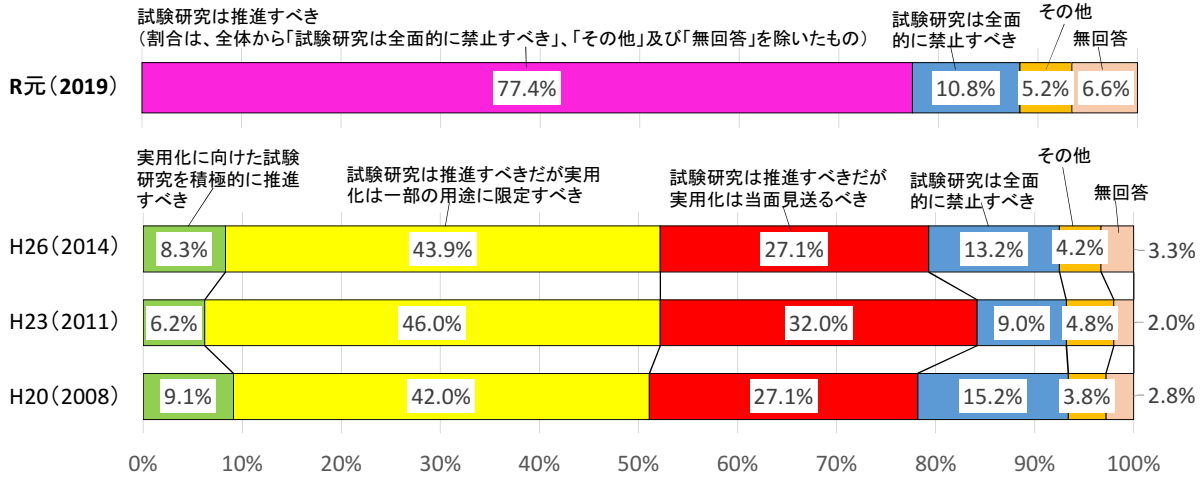
「不安に思う」と「やや不安に思う」で66.1%と、「不安を持っている」との回答が6割を超えている。

問2 遺伝子組換え作物を栽培することによる自然や環境への影響について、どのように思いますか。



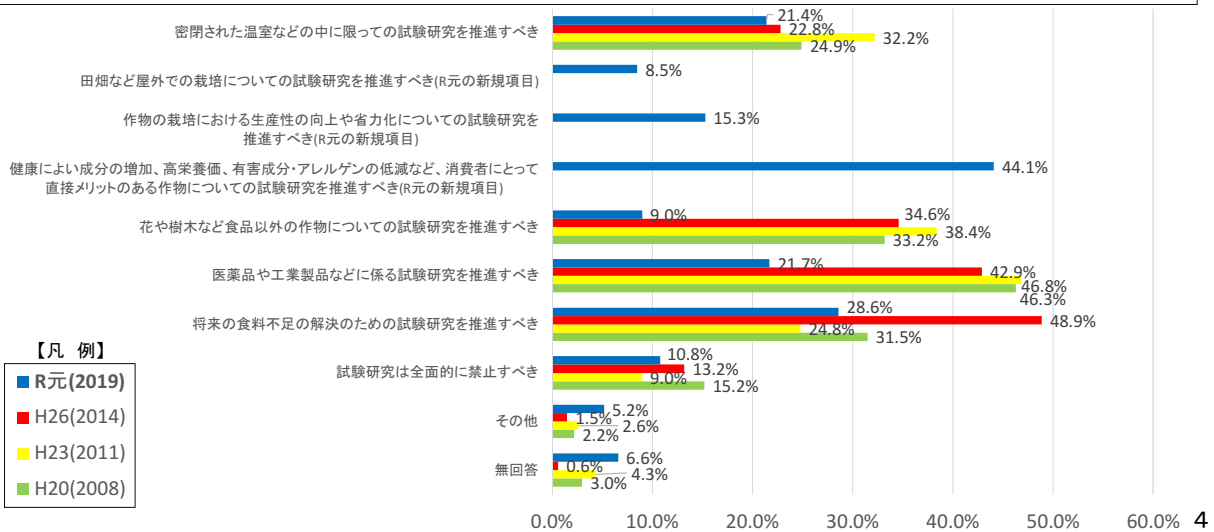
「不安に思う」と「やや不安に思う」で66.9%と、「不安を持っている」との回答が6割を超えている。

問3 遺伝子組換え技術の試験研究について、どのように思われますか。



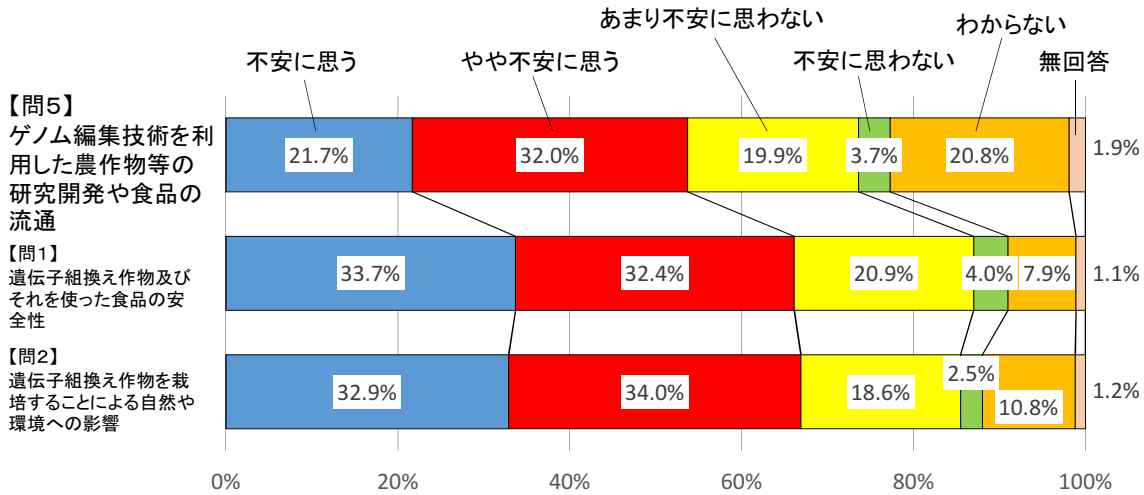
「試験研究を推進すべき」とする意見は、8割近くを占めている。

問4 遺伝子組換え技術の試験研究について、どのように思われますか。(「推進すべき」と思われる方、複数回答)
 (H20・23・26の設問は、「問3」で「試験研究は推進すべきだが『実用化は一部の用途に限定』または『実用化は当面見送る』」を選んだ方を対象に、「どのような試験研究なら行ってもよいと思いますか」)



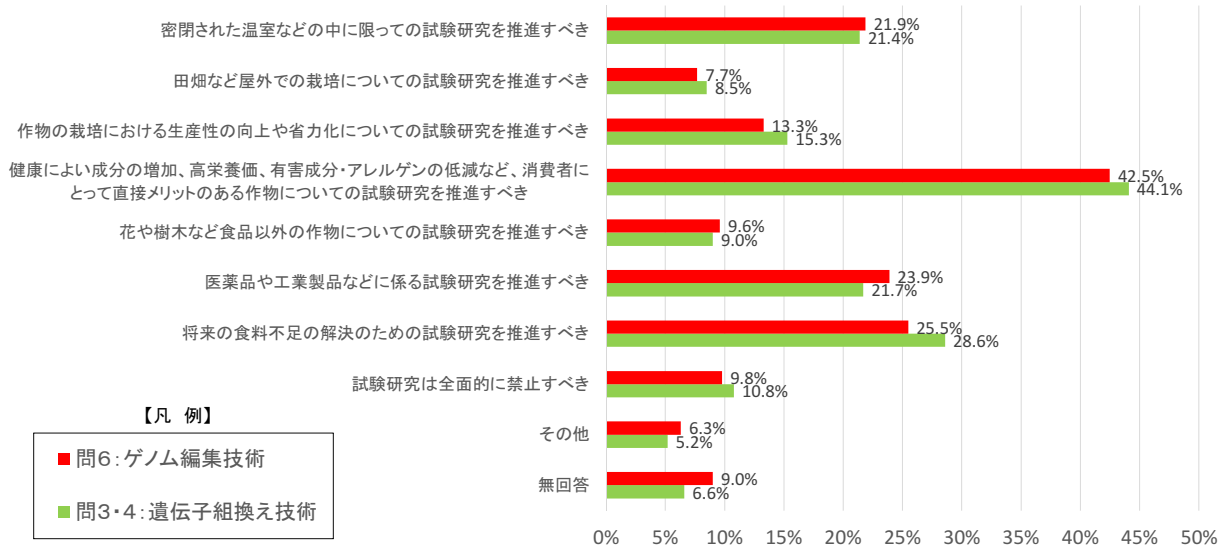
今回、新たな選択項目とした「健康によい成分の増加、高栄養価、有害成分・アレルギーの低減など、消費者にとって直接メリットのある作物についての試験研究を推進すべき」と回答した人は、4割を超えている。一方で、「田畑など屋外での栽培についての試験研究を推進すべき」、「作物の栽培における生産性の向上や省力化についての試験研究を推進すべき」と回答した人は、それぞれ1割前後となっている。

問5 ゲノム編集技術を利用した農作物等の研究開発や食品の流通について、どのように思いますか。



「不安に思う」と「やや不安に思う」で53.7%と、「不安を持っている」との回答が5割を超えているが、遺伝子組換え作物に関係する不安を持っているとの回答と比較すると少ない。一方で、「わからない」との回答は約2割で遺伝子組換え作物と比べると多い。

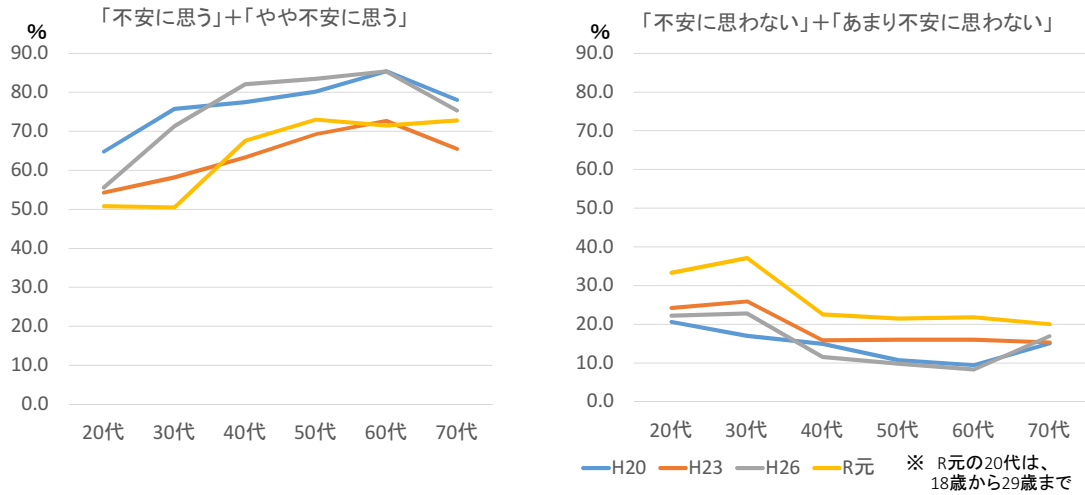
問6 ゲノム編集技術の試験研究について、どのように思われますか。（「推進すべき」と思われる方は推進すべき各項目から複数回答、それ以外の方は「全面的に禁止すべき」または「その他」の一択）



各項目の回答の割合は、遺伝子組換え技術の試験研究におけるそれとほぼ同じとなっている。

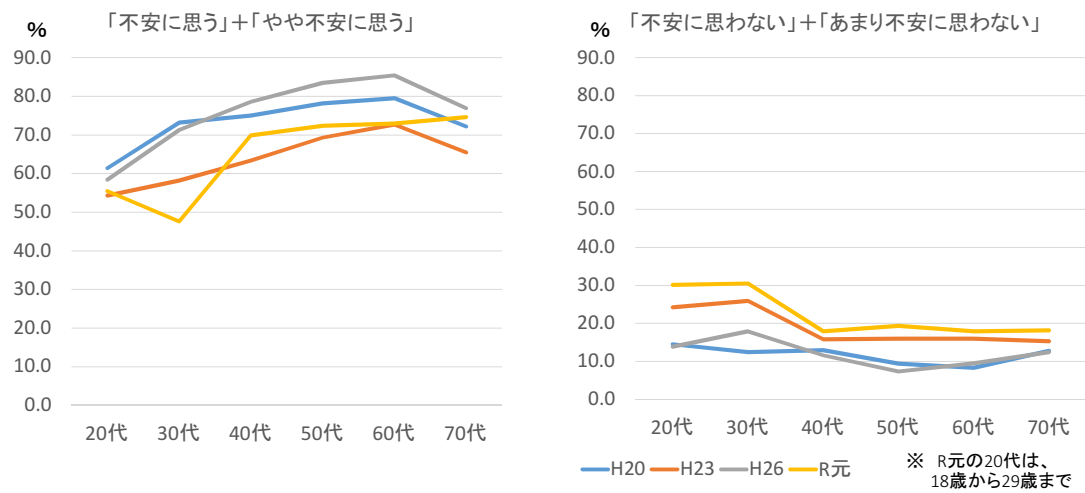
(参考)道民意識調査 年代別における割合の比較

問1 「遺伝子組換え作物及びそれを使った加工食品の安全性について、どのように思いますか」



7

問2 「遺伝子組換え作物を栽培することによる自然や環境への影響について、どのように思いますか」



8

日頃、食卓に上っている農作物等のほとんどは、新たな品種を開発する「育種」によって産み出されています。

古くは自然に発生する突然変異によって形質が変化したものを選抜するといった手法のほか、異なる品種をかけ合わせる交配により育種が行われてきました。

ここ数十年では、放射線照射や薬剤による人為的な突然変異の誘発、さらに遺伝子組換え技術といった育種技術も利用されているほか、最近ではゲノム編集技術による新品种の研究開発が進められています。

※ 問1

問34 あなたは、遺伝子組換え作物※及びそれを使った食品の安全性について、どのように思われますか。

次の中から1つだけお選びください。（○は1つ）

※ 遺伝子組換え作物

目的とする遺伝子を別の生物から導入する遺伝子組換え技術を利用して作出された作物（例：除草剤に耐性のある作物、害虫に抵抗性のある作物）

- 1 不安に思う
- 2 やや不安に思う
- 3 あまり不安に思わない
- 4 不安に思わない
- 5 わからない

※ 問2

問35 あなたは、遺伝子組換え作物を栽培することによる自然や環境への影響について、どのように思われますか。

次の中から1つだけお選びください。（○は1つ）

- 1 不安に思う
- 2 やや不安に思う
- 3 あまり不安に思わない
- 4 不安に思わない
- 5 わからない

（注）※ は、道民意識調査結果の取りまとめにおいて用いている問の番号。

※ 問3・4

問36 あなたは、遺伝子組換え技術の試験研究について、どのように思われますか。

「推進すべき」と思われる方は次の1から7の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(○は複数可)

また、それ以外の方は8または9から1つだけお選びください。(○は1つ)

〔「推進すべき」と思われる方〕(当てはまるものをすべてお選びください)

- 1 密閉された温室などの中に限って、試験研究を推進すべき
- 2 田畑など屋外での栽培について、試験研究を推進すべき
- 3 作物の栽培における生産性の向上や省力化について、試験研究を推進すべき
- 4 健康によい成分の増加、高栄養価、有害成分・アレルゲンの低減など、消費者にとって直接メリットのある作物について、試験研究を推進すべき
- 5 花や樹木など食品以外の作物について、試験研究を推進すべき
- 6 医薬品や工業製品などの利用について、試験研究を推進すべき
- 7 将来の食料不足の解決のために、試験研究を推進すべき

〔それ以外の方〕(1つだけお選びください)

- 8 試験研究は全面的に禁止すべき
- 9 その他(具体的に：)

※ 問5

問37 近年、新たな育種技術として、ゲノム編集技術※の研究開発が進められています。

あなたは、ゲノム編集技術を利用した農作物等の研究開発や食品の流通について、どのように思いますか。

次の中から1つだけお選びください。(○は1つ)

※ ゲノム編集技術

DNAを切断する酵素を用いて、外部から遺伝子の挿入や、既存の遺伝子の欠失、塩基配列の置換など、ゲノムの特定の部位を意図的に改変することが可能な技術で、別の生物からの遺伝子を導入する遺伝子組換え技術と異なり、最終的に自然界で起こり得る変異と同様のものがある。

〔例：食中毒の原因となるソラニンが作られないようにしたジャガイモ
血圧上昇抑制効果などがあるGABAを多く含むトマト〕

- 1 不安に思う
- 2 やや不安に思う
- 3 あまり不安に思わない
- 4 不安に思わない
- 5 わからない

※問6

問 38 あなたは、ゲノム編集技術の試験研究について、どのように思われますか。

「推進すべき」と思われる方は次の1から7の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(○は複数可)

また、それ以外の方は8または9から1つだけお選びください。(○は1つ)

[「推進すべき」と思われる方] (当てはまるものをすべてお選びください)

- 1 密閉された温室などの中に限って、試験研究を推進すべき
- 2 田畑など屋外での栽培について、試験研究を推進すべき
- 3 作物の栽培における生産性の向上や省力化について、試験研究を推進すべき
- 4 健康によい成分の増加、高栄養価、有害成分・アレルゲンの低減など、消費者にとって直接メリットのある作物について、試験研究を推進すべき
- 5 花や樹木など食品以外の作物について、試験研究を推進すべき
- 6 医薬品や工業製品などの利用について、試験研究を推進すべき
- 7 将来の食料不足の解決のために、試験研究を推進すべき

[それ以外の方] (1つだけお選びください)

- 8 試験研究は全面的に禁止すべき
- 9 その他(具体的に: _____)